

県最大級アートコンクールで入賞！！

沖縄県立博物館・美術館が主催する第8回アートコンクールにて本校美術部に所属する2-6上原寧々さんが高校生の部で入賞を果たした。「私と美術館」がテーマで募集された本コンクールでは561点の応募があった。

好きな絵画を取り入れてみました♡

今回のお題である「私と美術館」に合わせ、自分が好きな芸術作品を本作品の中に多数取り入れ、それを鑑賞して感動・興奮している女性を表現した。中でも一番のお気に入りにはヒエロニムス・ボスの「快樂の園」という絵画がそうで、興奮しながら作品の魅力を語ってくれた。本作品にも1部取り入れているので探してみたい。苦勞した点は、普段苦手意識から避けている陰影や配色で、本校美術講師で顧問の金城先生に色々アドバイスを頂いたそう。「やっぱ先生さすがすわ」と尊敬の声をもらっていた。



最優秀より輝いてたよ

いつも1人黙々と絵を描く部活動だが、それが寧々さんにとって最高の環境。彼女の絵はオリジナリティにあふれ、他の作品にない不思議な魅力がある。本人も来年は最優秀目指してまた応募したいとのことだった。応援してます

120周年記念式典のポスターデザインの大役も務める

今年で創立120周年を迎える本校の記念式典ポスターも制作した。(下左写真)さすがの出来栄えて職員間でも好評。今回の入賞によって授与された賞状(デザインがかわいくてお気に入り)を誇らしく持つ上原寧々さん(下右写真)



躍進 大注目！ハンドボール同好会



男女ともに初戦突破！自分たちのしたいことはできた(男子)

ハンドボール同好会が秋季新人大会に出場した。男子は単独チームで出場し初戦、読谷高校を相手に31-26で勝利した。続く2回戦では前原高校に破れたものの、成功点・反省点が見つかり、収穫のある試合となった。特にディフェンスではみんなの連携がうまくいき練習してきたことができた。しかしオフェンスでのパスミスが目立ち、相手のマークをずらすことができなかった。現在男子部員が8名だが、最低でも12名には増やしたい。次の大会ではベスト8を目指し、どんどん注目してもらおうことで、部員獲得に繋げたいとのことだった。

女子選手は1名 糸満高校と合同チームで出場

唯一の女子選手である松原里奈さん(1-4)はハンドボール経験者として普段男子と共に同じ練習をしている。本大会では糸満

高校と合同チームで出場し、初戦で読谷・次戦で具志川を下した。3回戦ではコザに破れベスト8にあと一歩まで迫った。合同チームには地元の知り合いも多いが練習機会も少なくコミュニケーション不足がどうしても生じる。ハンドができる環境があるだけありがたいが、できることなら単独チームとして出場したい。気軽に体験に来て欲しい。(下写真中央 女子選手松原さん・左右の2人はMGとしてチームを支える)



新人大会結果一覧

諸事情により本大会は見送ることとなったが、次の大会に向け練習をする硬式テニス同好会↓

競技名	主な成績	競技名	主な成績
カヌー	九州優勝・県優勝	ハンドボール	ベスト16
ボクシング	九州3位・県優勝	バトミントン	ベスト16
男子バスケ	準優勝(九州大会開催無し)	卓球	初戦敗退
ウェイトリフティング	2位	陸上	3位(やり投げ)
ヨット	優勝(九州大会開催無し)	女子バスケ	初戦敗退
ソフトテニス	初戦敗退		

【総評】今年の新人大会は出場予定のサッカー部を含め12の競技で本校から参加した。県で3位以上が6部活、九州で2部活と立派な成績を残し、新世代でも沖水の部活動が盛んであることを証明したと言っていだろう。今年度は高体連規模の大会はないが、各専門部による冬の大会がそれぞれあるので、注目していきたい。また、来年度の新生を迎えるの総体が非常に期待できる。



開催時期が他競技と異なる(一月)サッカー部←